



大口司郎 議員

Shiro Oguchi



12月定例会

チャレンジ

トピックス

一般質問

追跡

Q. 県道に自転車走行空間の整備を A. 改修の考えはない

MRJ最終組立工場も稼働間近に迫り、朝、夕は社会教育センターから大山川めぐみ橋に至る県道名古屋豊山稲沢線では、人で溢れている。この歩道を利用されている地域住民より、危険で通りにくいと言われている。そこで伺いたい。

Q いまだ改修が行われない理由は。

産業建設部長

A 不備な所については、その都度、県へ申し入れて改修を行っている。今後においても問題点があれば、県へ要望していく。

Q 歩道が狭く、自転車も通行するので歩行者と自転車を分離する必要がある。改修についての考えを伺う。

産業建設部長

A この県道は平成3年より供用開始されている。当時の道路構造基準に基づき16mで整備さ

れたものであり、歩道は1.5mである。
また、都市計画道路であり、改修の考えはない。



▲三菱重工前の歩道